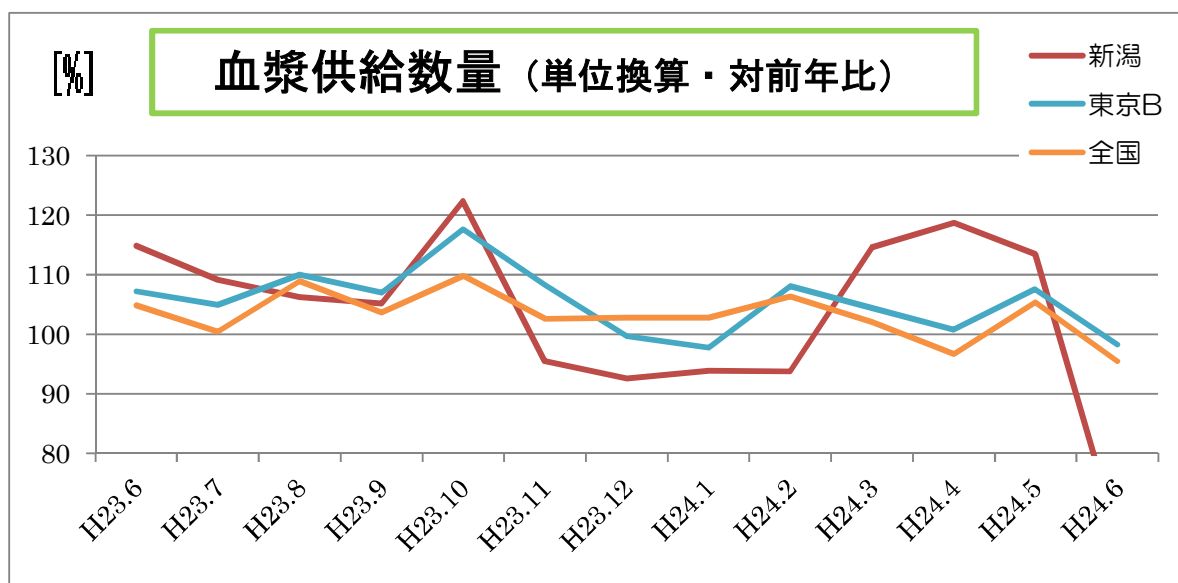
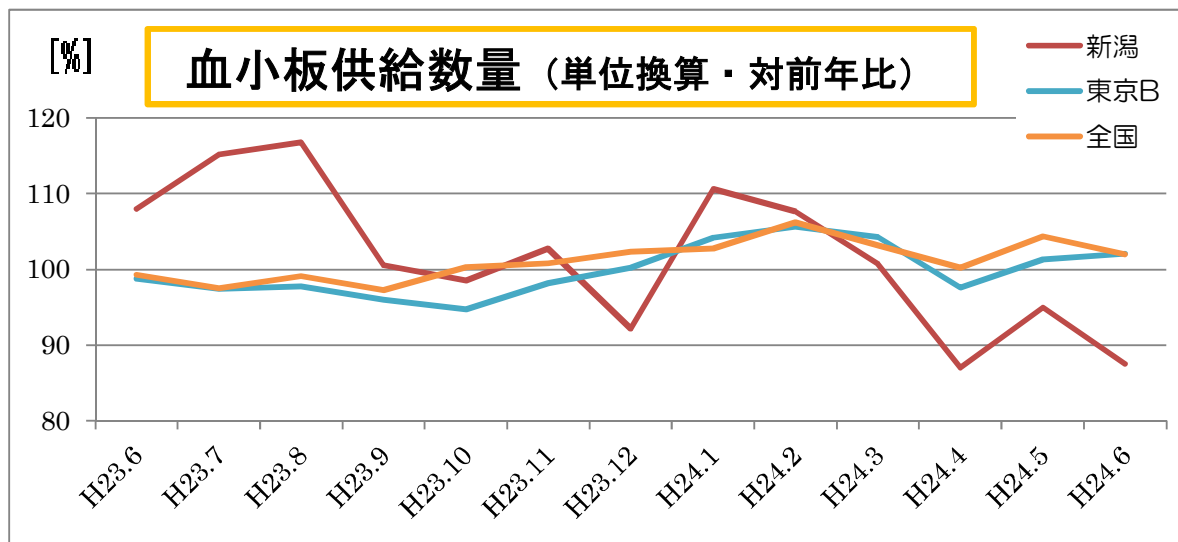
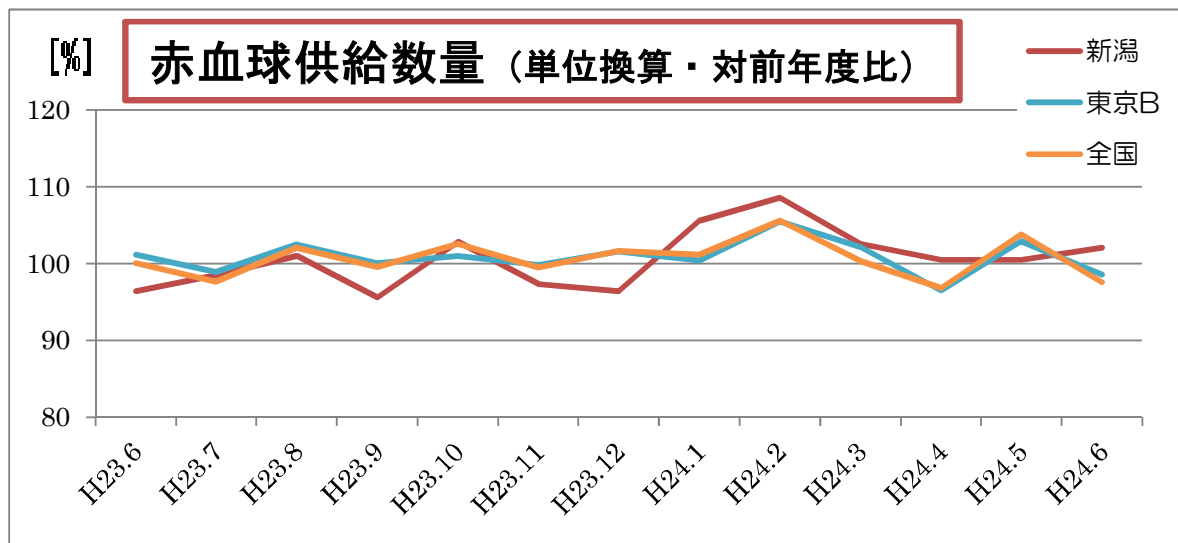
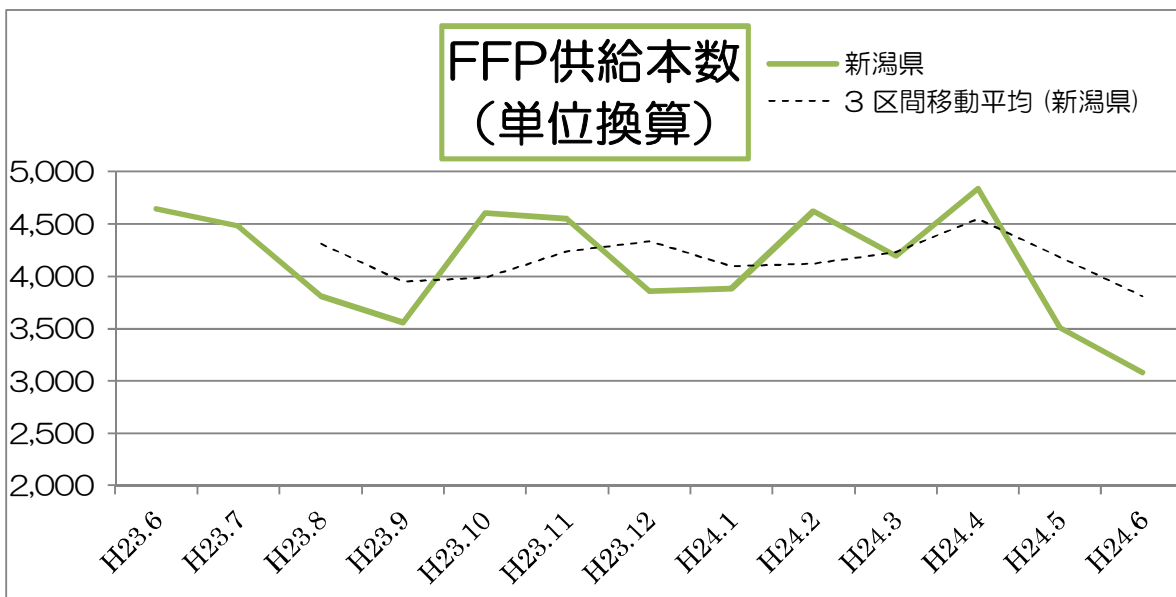
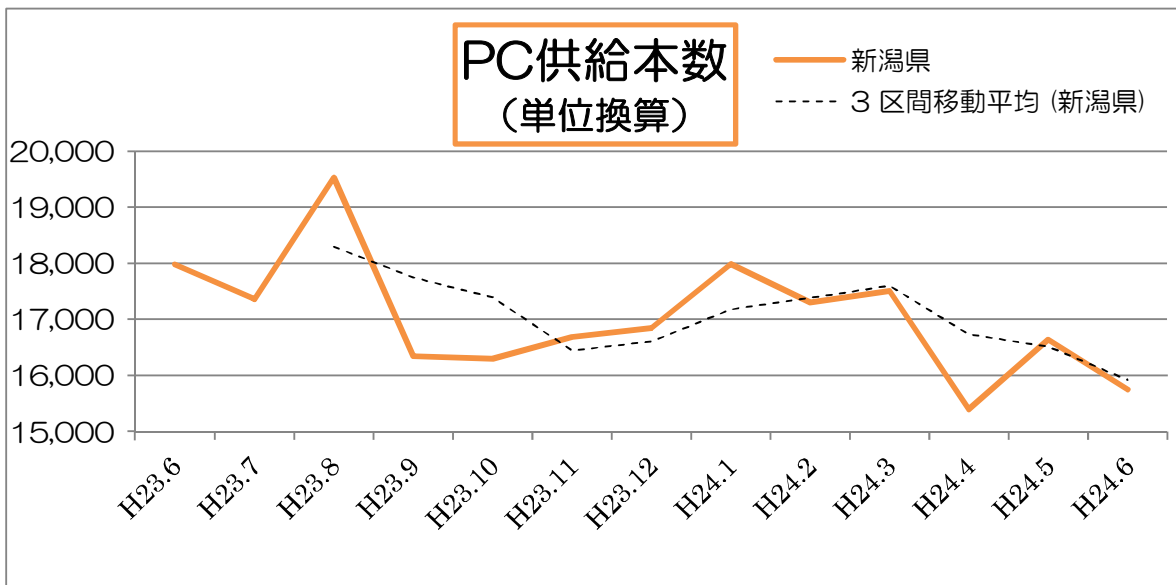
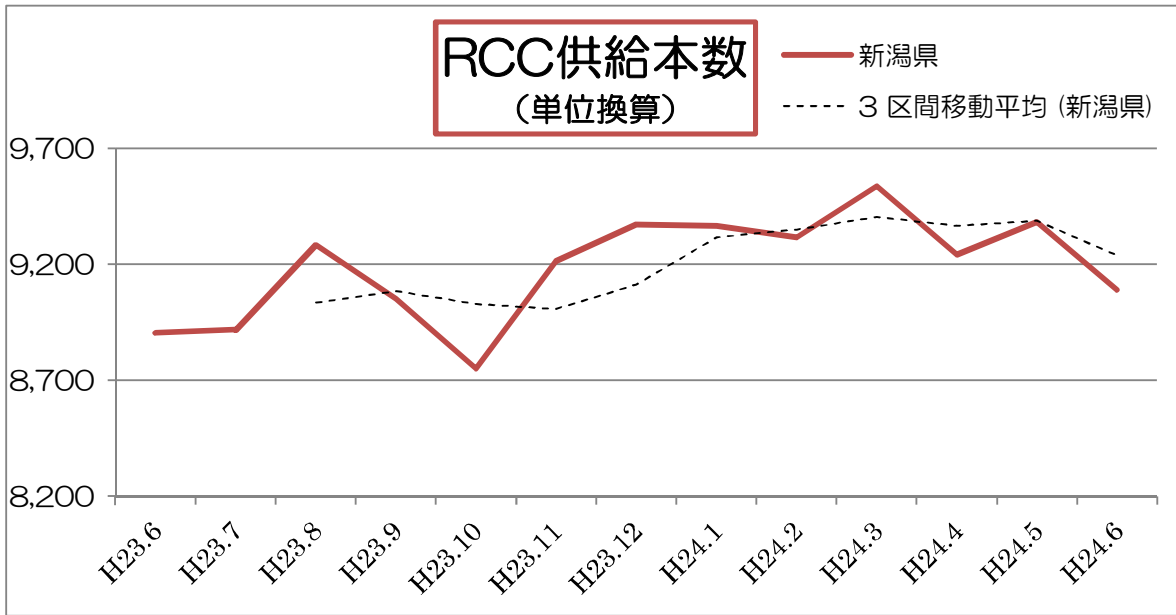


*日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

*管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。





H24 年 血液製剤使用状況集計結果

対象：新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設(うち期限内に間に合った 81 施設データを集計)

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により6つの規模別に分類して集計

◆6 月の特徴:適正使用が亢進している!?

RCC:横ばい、PC:年初に比べ 13%減(要因は A 施設)。FFP:年初に比べ 18%減(要因は A,C 施設)。

施設規模(一般病床数による)	施設数	病床数	
A	500床以上	6	3,558
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	10	2,573
E	100～199床	22	3,445
F	0～99床	31	1,632
計		81	15,616

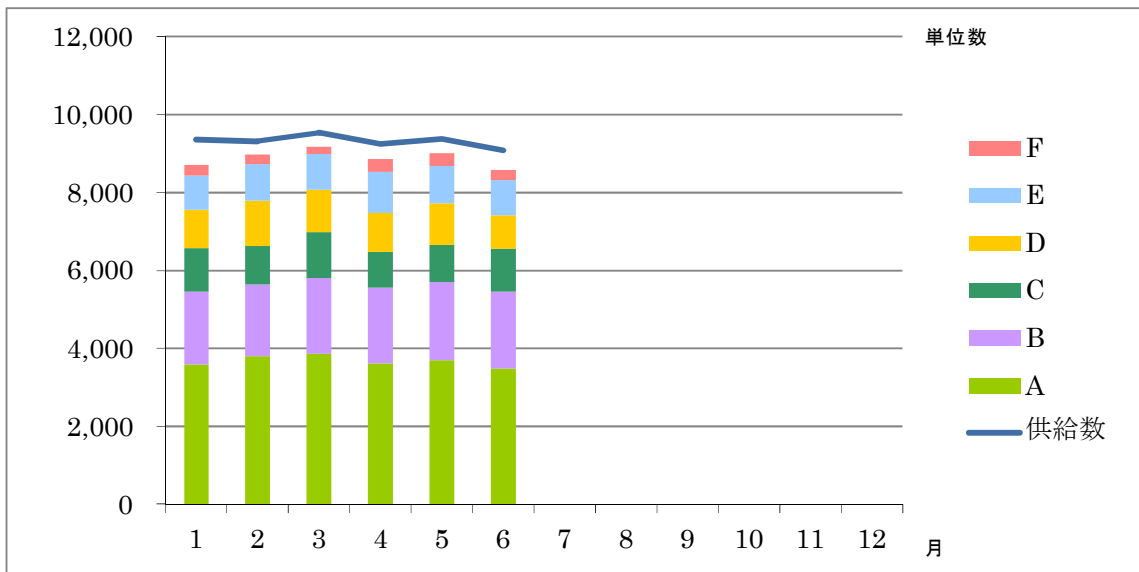
赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

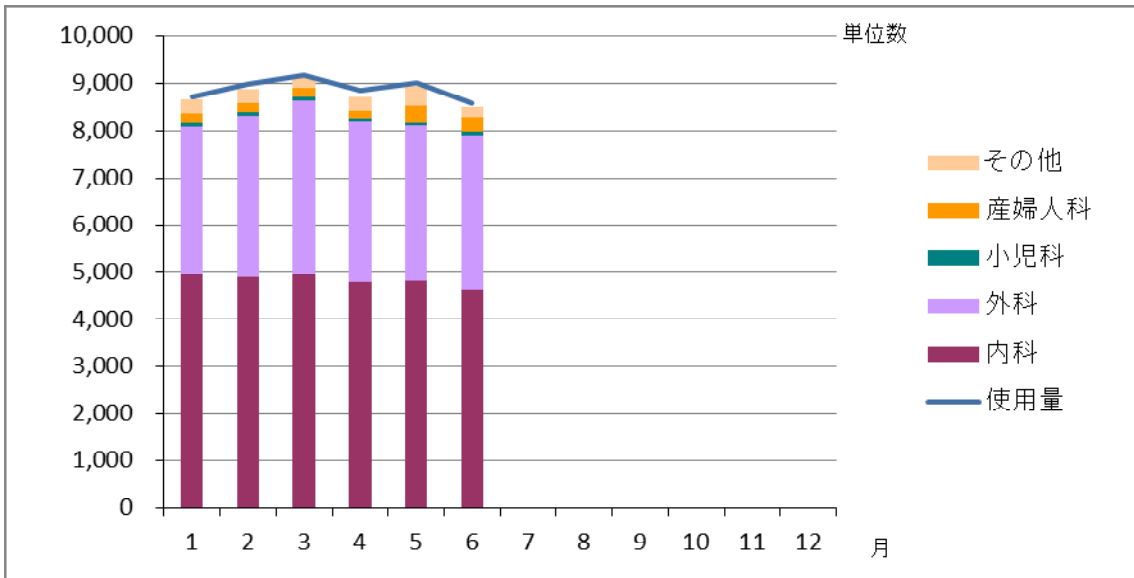
*各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,483	1,833	1,236	61	209	144	3,483	100.0
B	1,977	1,040	893	0	38	6	1,977	100.0
C	1,094	633	411	0	20	30	1,094	100.0
D	869	422	405	0	16	26	869	100.0
E	888	483	283	0	14	26	806	90.8
F	275	216	59	0	0	0	275	100.0

赤血球製剤の供給数と各施設における使用量



各施設における赤血球製剤の使用量と各診療科別の使用量



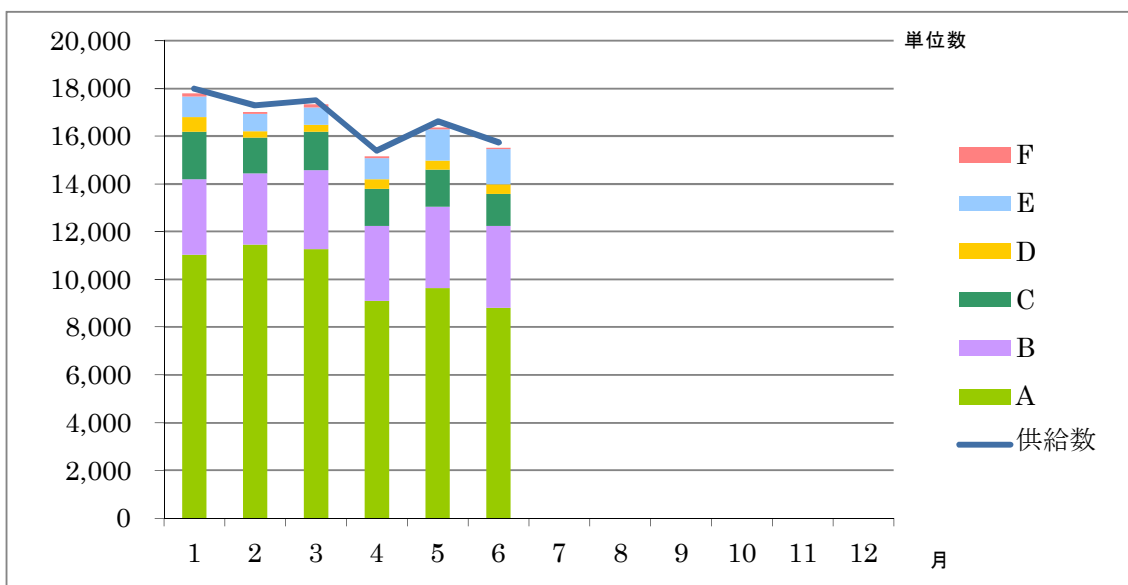
血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

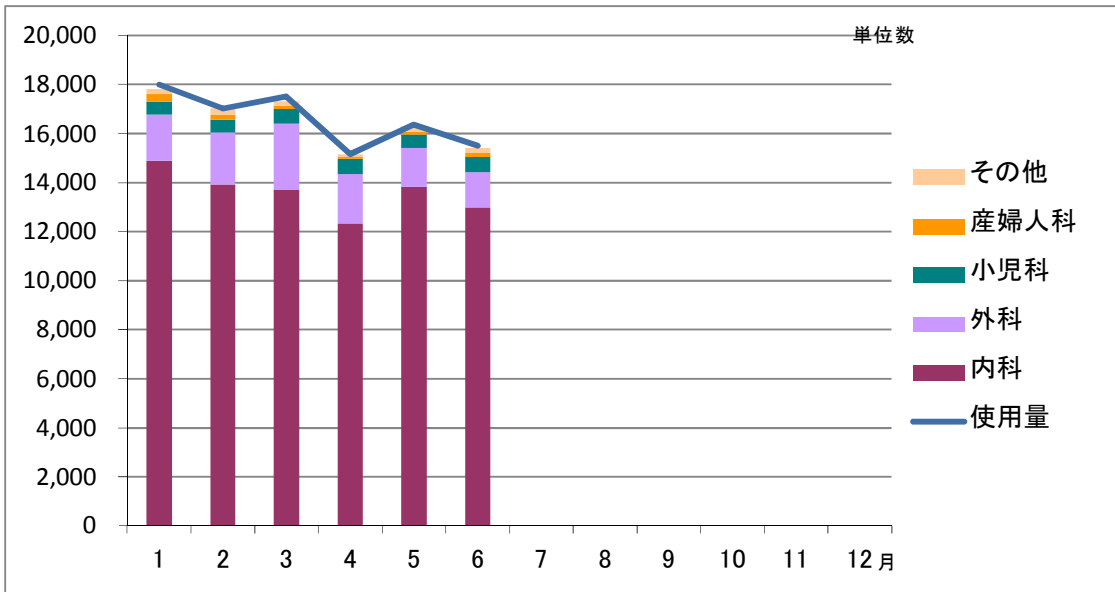
* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

血小板製剤の供給数と各施設における使用量

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	8,815	7,355	535	630	140	155	8,815	100.0
B	3,425	2,835	575	0	15	0	3,425	100.0
C	1,350	1,175	115	0	0	60	1,350	100.0
D	405	250	155	0	0	0	405	100.0
E	1,470	1,310	60	0	0	0	1,370	93.2
F	50	50	0	0	0	0	50	100.0



各施設における血小板製剤の使用量と各診療科別の使用量



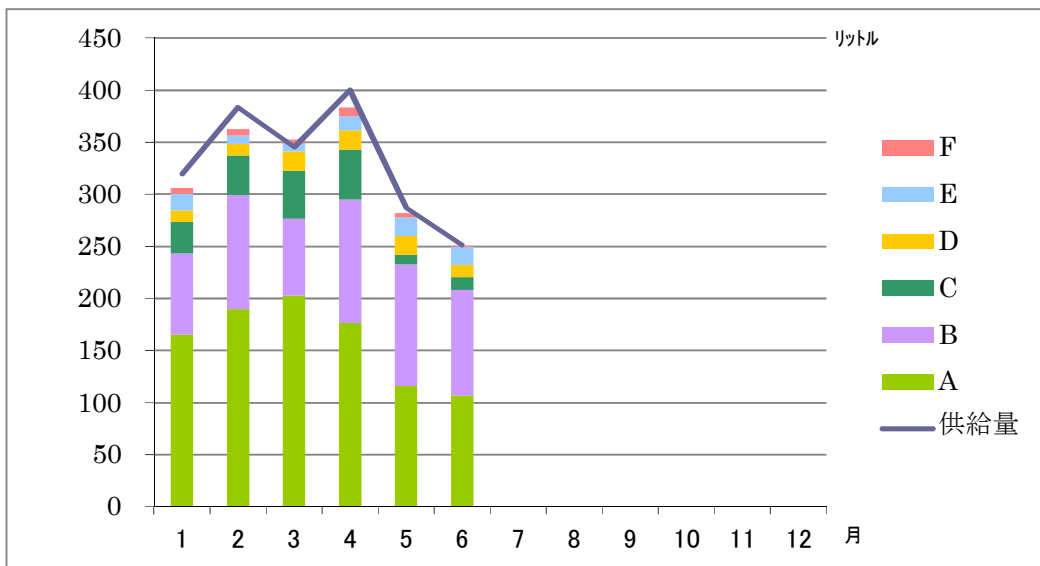
血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

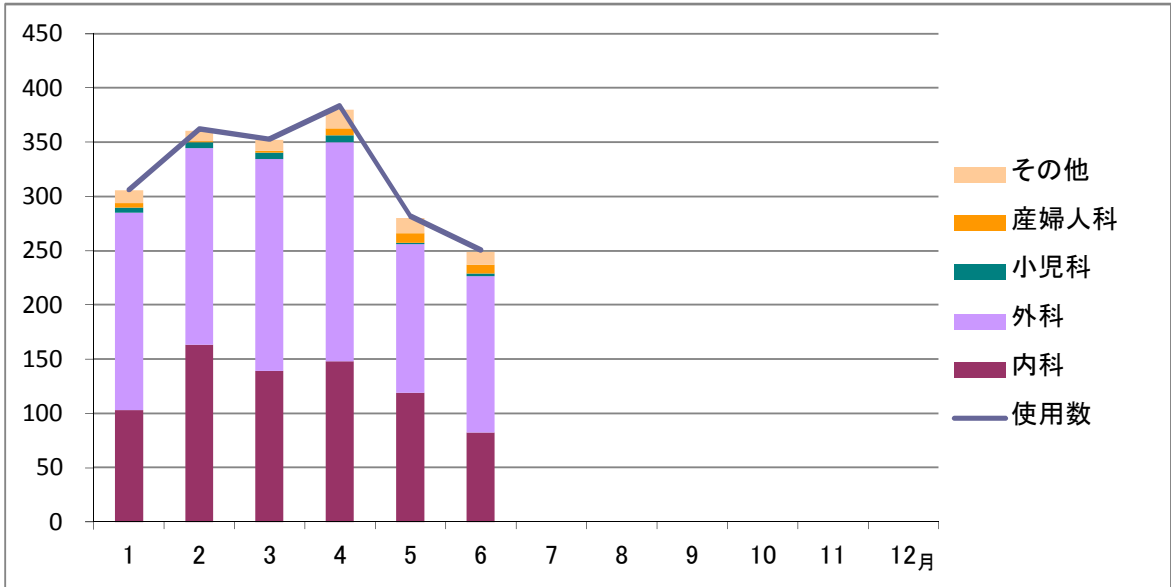
* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	107.0	27.5	63.2	2.5	5.6	8.2	107.0	100.0
B	101.1	31.4	68.6	0.0	1.2	0.0	101.1	100.0
C	12.4	3.1	6.7	0.0	1.3	1.2	12.4	100.0
D	11.9	7.2	2.3	0.0	0.0	2.4	11.9	100.0
E	17.0	11.7	3.1	0.0	0.0	0.0	14.8	86.8
F	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	100.0

血漿製剤の供給数と各施設における使用量



各施設における血漿製剤の使用量と各診療科別の使用量



アルブミン製剤

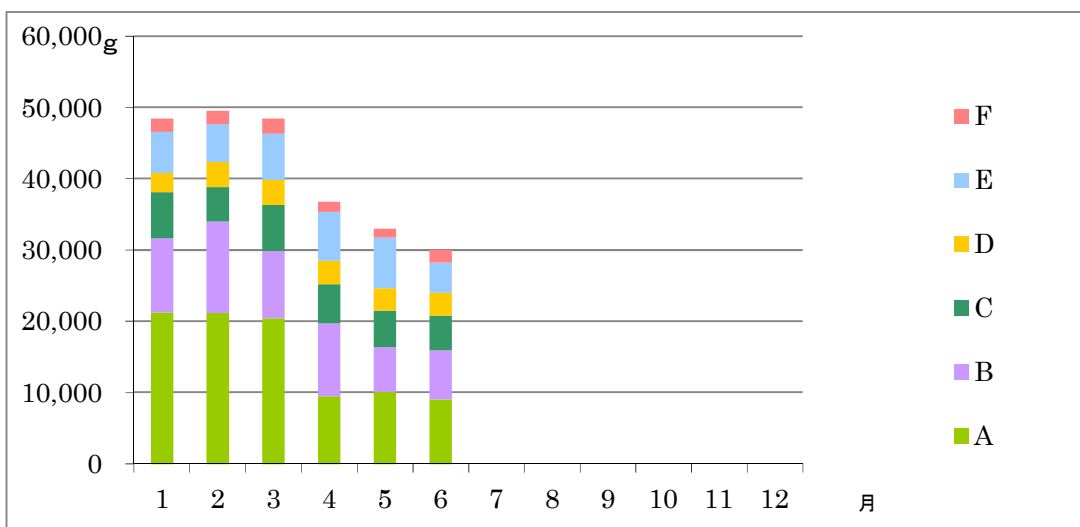
アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

* 輸血用血液製剤と異なり、全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみを表示

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	8,999.5	3,112.5	3,373.0	209.0	675.0	92.5	7,462.0	82.9
B	6,937.5	3,987.5	2,925.0	0.0	25.0	0.0	6,937.5	100.0
C	4,813.0	3,662.5	1,127.0	12.5	0.0	11.0	4,813.0	100.0
D	3,304.0	1,858.8	891.0	0.0	4.2	0.0	2,754.0	83.4
E	4,216.0	2,342.5	603.5	0.0	0.0	120.0	3,066.0	72.7
F	1,787.0	1,540.0	247.0	0.0	0.0	0.0	1,787.0	100.0

アルブミン製剤の各施設における使用量



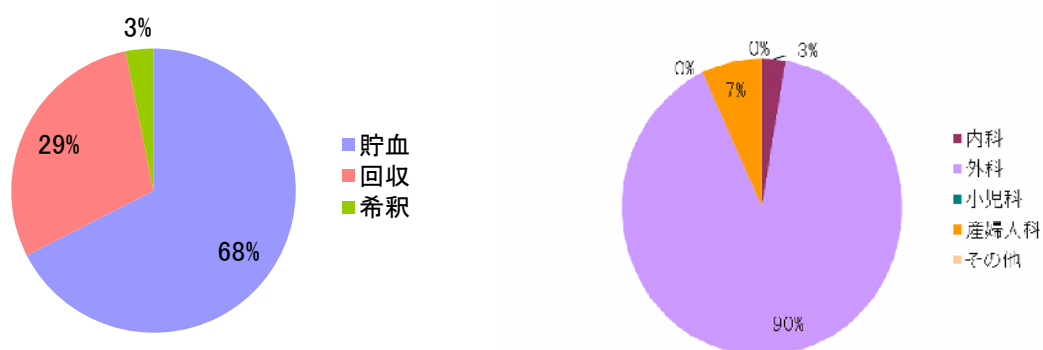
自己血

自己血の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別						全体の使用量 に対する割合 (%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計	
A	19.0	14.1	2.5	35.6	2.0	29.0	0.0	4.6	0.0	35.6	100.0
B	8.3	4.0	0.4	12.7	0.0	11.6	0.0	1.1	0.0	12.7	100.0
C	6.6	0.0	0.0	6.6	0.0	6.6	0.0	0.0	0.0	6.6	100.0
D	8.0	8.8	0.0	16.8	0.0	16.4	0.0	0.4	0.0	16.8	100.0
E	17.0	0.0	0.0	17.0	0.4	13.0	0.0	0.0	0.0	13.4	78.8
F	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	100.0
計	61.7	26.9	2.9	91.5	2.4	79.4	0.0	6.1	0.0	87.9	96.1

自己血輸血の種類と診療科別の割合



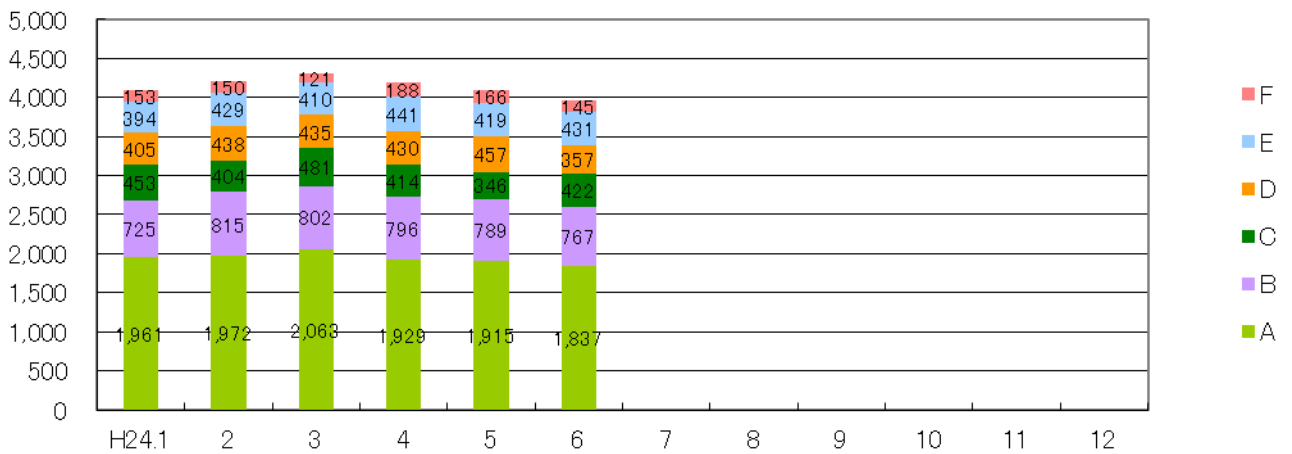
輸血実施患者数(延べ人数)

6月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	1,837	767	422	357	431	145	3,959
1床あたり	0.52	0.36	0.19	0.14	0.13	0.09	0.25
自己血	58	27	16	36	31	5	173
アルブミン	501	327	274	107	111	81	1,401

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。

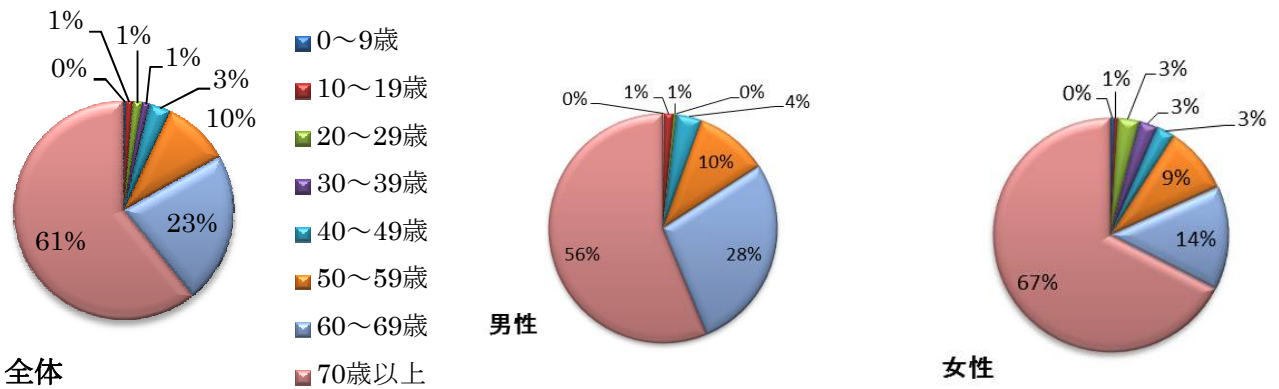
延べ人数

同種血



男女別年代別の同種血延べ人数(データ提出施設分のみ)

6月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	2	19	6	2	52	153	410	828	1,472
女	5	5	29	25	25	90	140	661	980
計	7	24	35	27	77	243	550	1,489	2,452

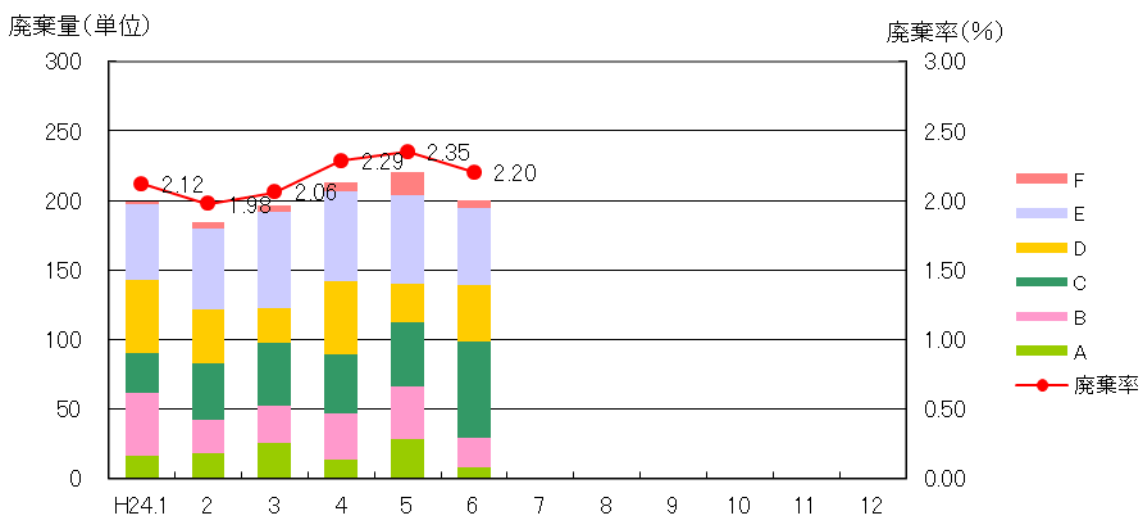


血液製剤及び自己血の廃棄率

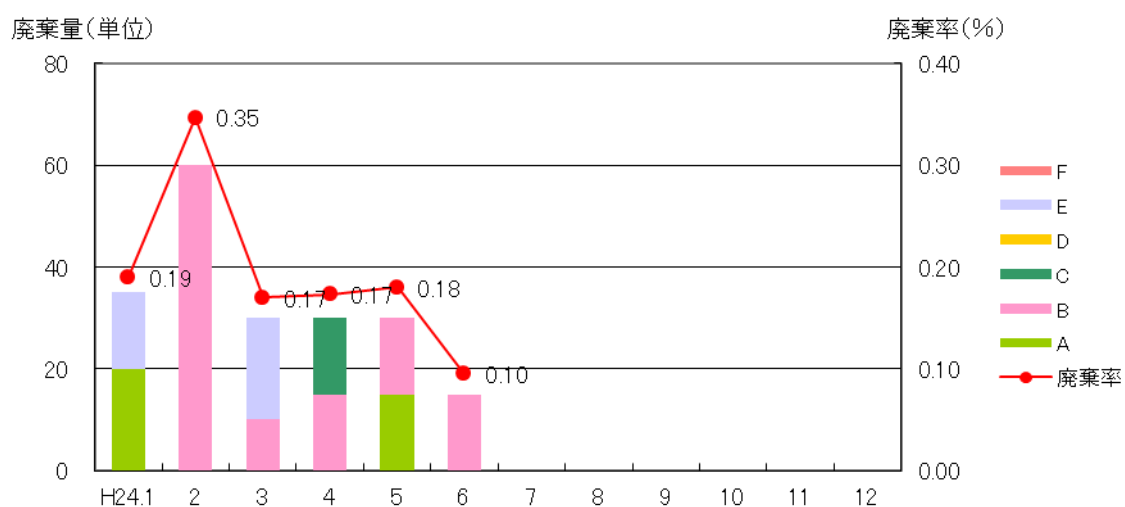
6月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	8	21	70	40	56	5	200
血小板製剤(単位)	0	15	0	0	0	0	15
血漿製剤(単位)	10.5	9.0	24.0	3.0	0.0	6.0	52.5
自己血(リットル)	0.9	1.2	0.0	0.0	3.8	0.0	5.9

※ 血漿製剤の単位換算は、FFP-LR-1 は 1.5、FFP-LR-2 は 3、FFP-LR-Ap は 5 を本数に乗じたもの。

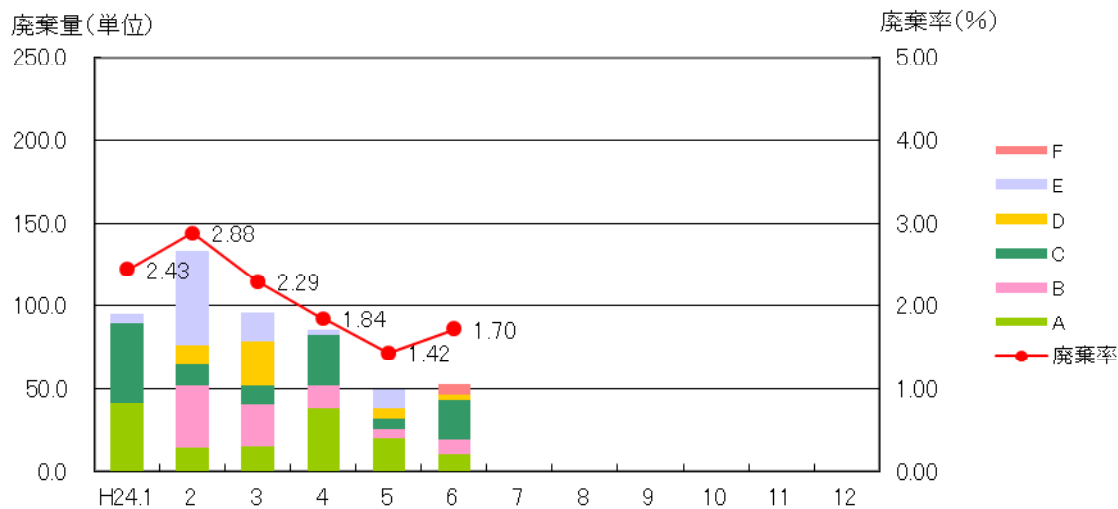
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



血小板製剤の廃棄量と廃棄率



血漿製剤の廃棄量と廃棄率



自己血の廃棄量

